

2026年3月期 決算

決算説明会

2026年4月28日

株式会社 トクヤマ



2026年3月期 決算のポイント

- 売上高はトクヤマライフサイエンス（TLS）グループ*の新規連結や半導体関連製品の販売増加などにより対前期比で増収
- 半導体関連製品の堅調な販売、および製造コストの改善が進んだこと等により、営業利益は対前期比で増益
- 2027年3月期業績予想・配当予想は、中東情勢影響等により現時点では未定

*トクヤマライフサイエンス（TLS）グループ：

体外診断用医薬品および体外診断用医薬品材料（IVD/IVDM）事業

CONTENTS

- ① 2026年3月期 決算
- ② トピックス
- ③ 補足資料

① 2026年3月期 決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高／営業利益
3. 営業利益増減分析



1. 決算概要

(億円)

	2025年3月期	2026年3月期	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	3,430	3,494	+64	+2	・TLSグループ新規連結 (+) ・半導体関連製品の販売増 (+)
売上原価	2,349	2,245	+103	+4	・製造コスト改善 (+) ・半導体関連製品の販売増 (+)
販管費	781	879	△97	△12	
営業利益	299	370	+70	+24	
営業外損益	△3	11	+15	-	・営業利益の増加 (+)
経常利益	295	382	+86	+29	・営業外損益の改善 (+)
特別損益	17	△17	△34	-	・特別損益の悪化 (△)
税前当期純利益	313	364	+51	+16	
親会社株主に帰属する 当期純利益	233	222	△11	△5	
1株当たり当期純利益 (円)	325.08	308.64	-	-	-
為替 (円/\$)	153	151	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	76,500	65,300	-	-	-

1. 決算概要

(億円)

	2025年3月末	2026年3月末	増 減	主要な変動要因
総資産	4,762	5,574	+812	TLSグループ新規連結
自己資本	2,615	2,830	+215	親会社株主に帰属する 当期純利益の積み上げ
自己資本比率	54.9%	50.8%	△4.1pt	-
有利子負債	1,106	1,620	+513	コマーシャル・ペーパー および長期借入金の増加
D/Eレシオ	0.42	0.57	+0.15	-
ネットD/Eレシオ*	0.13	0.41	+0.28	-
1株当たり純資産 (円)	3,635.62	3,934.75	-	-

*ネットD/Eレシオ：（有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託）／自己資本

2. セグメント別売上高／営業利益

(前 期 比)

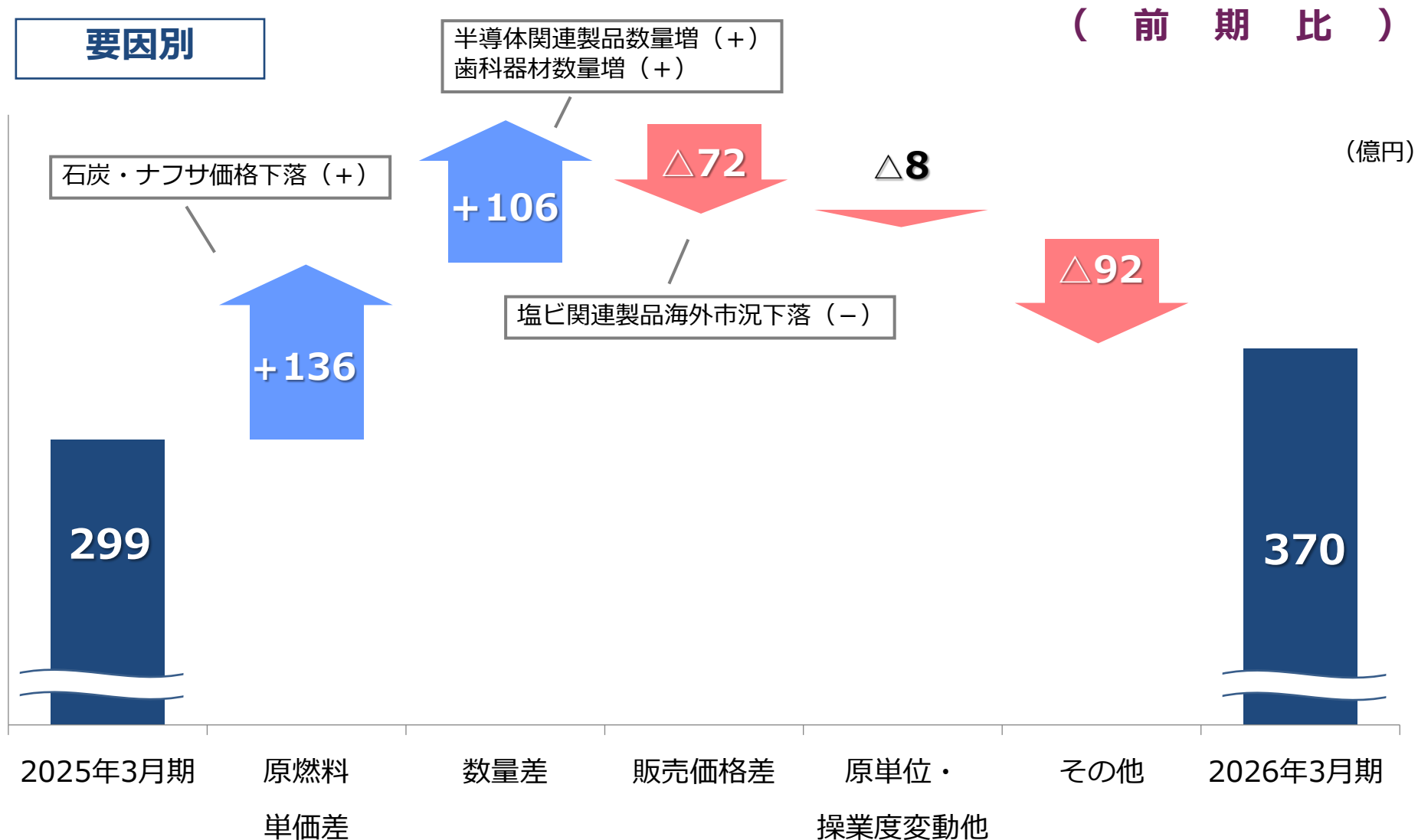
(億円)

	2025年3月期		2026年3月期		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	1,150	108	1,062	97	△87	△8	△11	△10
セメント	647	74	668	95	+21	+3	+20	+28
電子先端材料	870	95	916	156	+46	+5	+60	+64
ライフサイエンス	419	78	493	78	+74	+18	+0	+0
環境事業	52	0	61	6	+9	+18	+6	-
その他	407	21	417	20	+9	+2	△1	△6
計	3,547	379	3,620	454	+73	+2	+75	+20
セグメント間 消去・全社費用	△116	△79	△125	△84	△9	-	△4	-
連結決算	3,430	299	3,494	370	+64	+2	+70	+24

(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

① 2026年3月期 決算

3. 営業利益増減分析



② トピックス

1. 2027年3月期 業績・配当予想について
2. 事業環境について
3. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
4. 株主還元
5. 中期経営計画について



1. 2027年3月期 業績予想・配当予想について

2027年3月期 業績予想・配当予想は未定

中東情勢の緊迫化を背景とした原燃料の調達・コスト上昇への不透明感が高まる。

現時点では合理的な業績予想の算定が困難

※算定可能となった時点で速やかに公表予定

2. 事業環境について

中東情勢の影響は不可避も、ライフサイエンス・電子先端材料を中心に収益確保

セグメント	事業環境（中東情勢影響除く）	中東情勢で想定される影響
化成品	<ul style="list-style-type: none"> ・内需は低調 ・塩ビ等の海外市況は底を打ち、足元は回復傾向 	<ul style="list-style-type: none"> ・エチレン等の原料調達の不透明感と価格上昇 ・電力コスト上昇
セメント	<ul style="list-style-type: none"> ・内需は縮小（3,000万トン／年*） ・セメント・固化材の国内販売事業の譲渡を決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・石炭価格の上昇 ・電力コスト上昇
電子先端材料	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体ウェハー市場は踊り場も、先端分野は堅調維持。また、先端化に伴い製造処理プロセスが増加 ・汎用、レガシー分野は回復に力強さを欠くとともに、中国メーカーが台頭 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロピレン等の原料調達の不透明感と価格上昇（IPA） ・電力コスト上昇
ライフサイエンス	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科器材：欧米を中心に好調継続 ・診断：高齢化、慢性疾患増加で成長は底堅い ・プラスチックレンズ関連材料：新製品上市 	<ul style="list-style-type: none"> ・副原料の価格上昇

*セメント協会発表値

3. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

1. 全社ROIC

2026年3月期 ROIC : 6.8% WACC : 6.5%

- ・4期ぶりに全社ROICがWACCを上回る
- ・2025年度は事業ポートフォリオの転換に向け、下記施策を実施
 - ①成長事業であるTLSグループの取得
 - ②海外の不採算事業からの撤退
 - ③セメント・固化材の国内販売事業等の譲渡の決定

2. 政策保有株式縮減

2026年3月期 11銘柄中、2銘柄を完全売却／1銘柄を一部売却

2027年3月期においても、一部売却した銘柄を中心に縮減を進める

※ 詳細は4月28日適時開示参照

4. 株主還元

方針：2025年3月期以降、DOE3%を目標とし、配当性向30%以上を目指す

- 2026年3月期：期末配当は予定通り60円を実施
- **2027年3月期：未定とするも、上記方針を維持すべく最大限注力**

年度	2021	2022	2023	2024	2025
中間配当金（円）	35.0	35.0	35.0	50.0	60.0
期末配当金（円）	35.0	35.0	45.0	50.0	60.0
配当性向（%）	18.0	53.8	32.4	30.8	38.9
DOE（%）	2.4	2.3	2.5	2.9	3.3

DOE:期末時点の連結株主資本配当率

5. 中期経営計画について

◆ 中期経営計画説明会の開催

日時：2026年5月29日(金)	※予定
投資家・アナリスト向け	13:30-14:30
マスコミ向け	15:45-16:45

※詳細は別途ご案内

もっと未来の人のために

TOKUYAMA 

③ 補足資料

1. 連結財務諸表（要約）
2. 営業外損益・特別損益・金融収支
3. 業績推移
4. セグメント別業績推移
5. 設備投資額・減価償却費・研究開発費推移
6. 有利子負債残高推移
7. キャッシュフロー推移
8. 従業員数推移



1. 連結財務諸表 (要約)

損益計算書

(億円)

	2025年3月期	2026年3月期	差損益	
			金額	%
売上高	3,430	3,494	+64	+2
売上原価	2,349	2,245	+103	+4
販管費	781	879	△97	△12
営業利益	299	370	+70	+24
営業外損益	△3	11	+15	-
経常利益	295	382	+86	+29
特別損益	17	△17	△34	-
税前当期純利益	313	364	+51	+16
法人税等	80	139	△58	△73
非支配株主損益	△1	3	△4	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	233	222	△11	△5

1. 連結財務諸表（要約）

貸借対照表

（億円）

	2025年3月末	2026年3月末	増減	
			金額	%
資産合計	4,762	5,574	+812	+17
流動資産	2,346	2,120	△225	△10
有形固定資産	1,722	1,902	+179	+10
無形固定資産	42	632	+590	-
投資その他の資産	650	918	+267	+41

	2025年3月末	2026年3月末	増減	
			金額	%
負債合計	2,023	2,596	+572	+28
流動負債	913	1,214	+301	+33
固定負債	1,110	1,381	+271	+24
純資産合計	2,738	2,978	+239	+9

2. 営業外損益・特別損益・金融収支

(億円)

		2025年3月期	2026年3月期	差損益
営業外収益	受取利息・配当金	8	10	+1
	その他	51	68	+17
	計	60	78	+18
営業外費用	支払利息	9	14	△5
	その他	54	52	+1
	計	63	66	△3
営業外損益		△3	11	+15

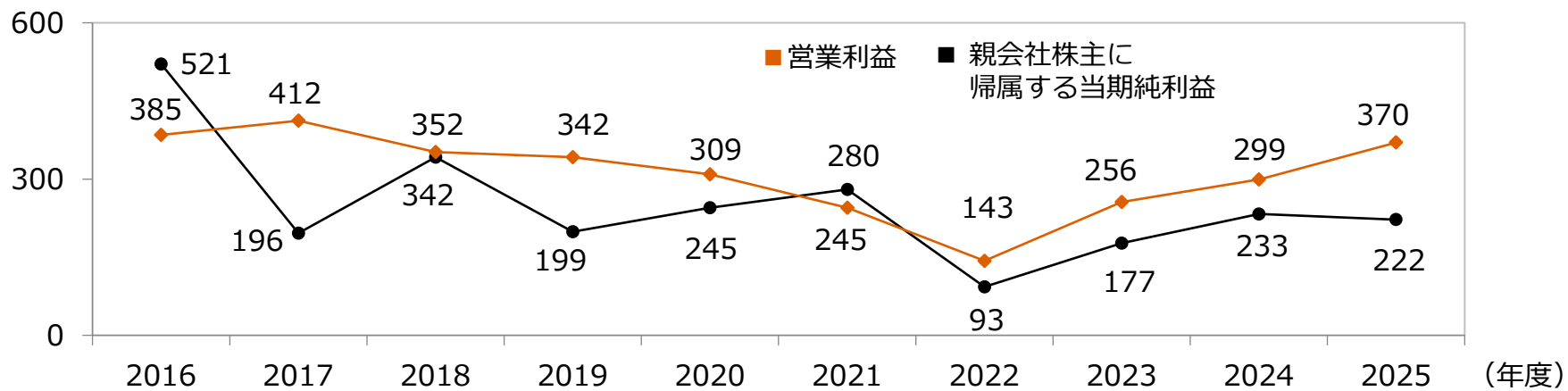
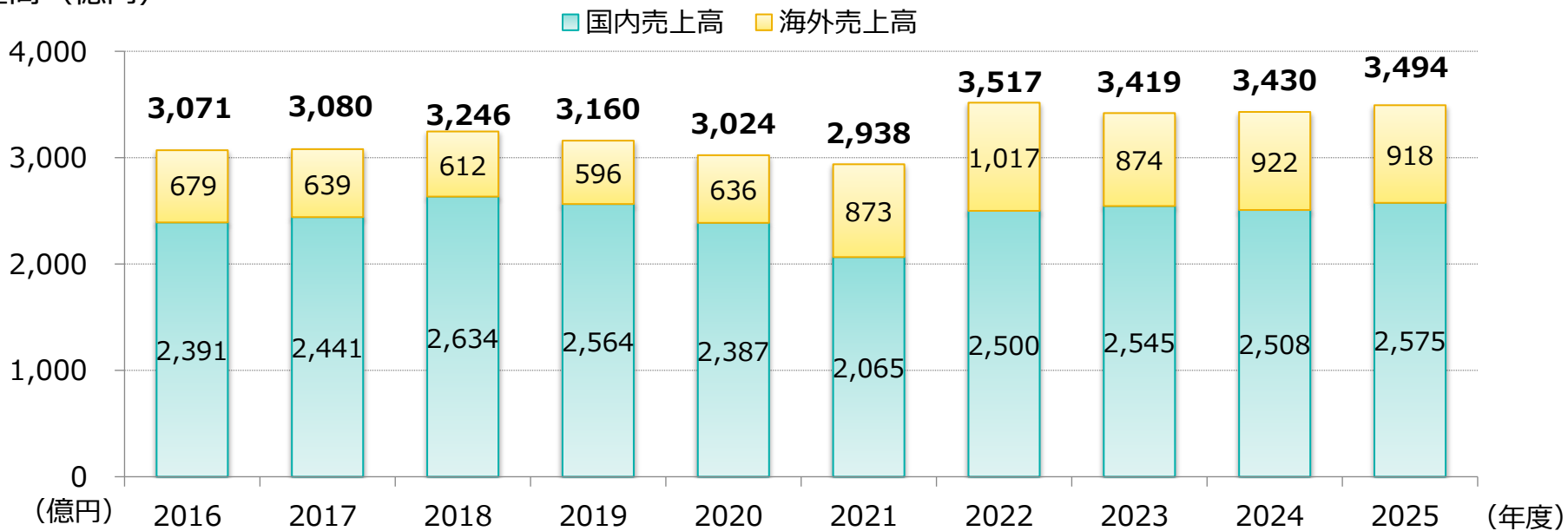
特別利益	40	43	+2
特別損失	23	60	△37
特別損益	17	△17	△34

金融収支	0	△4	△3
------	---	----	----

(注) 差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

3. 業績推移

売上高 (億円)



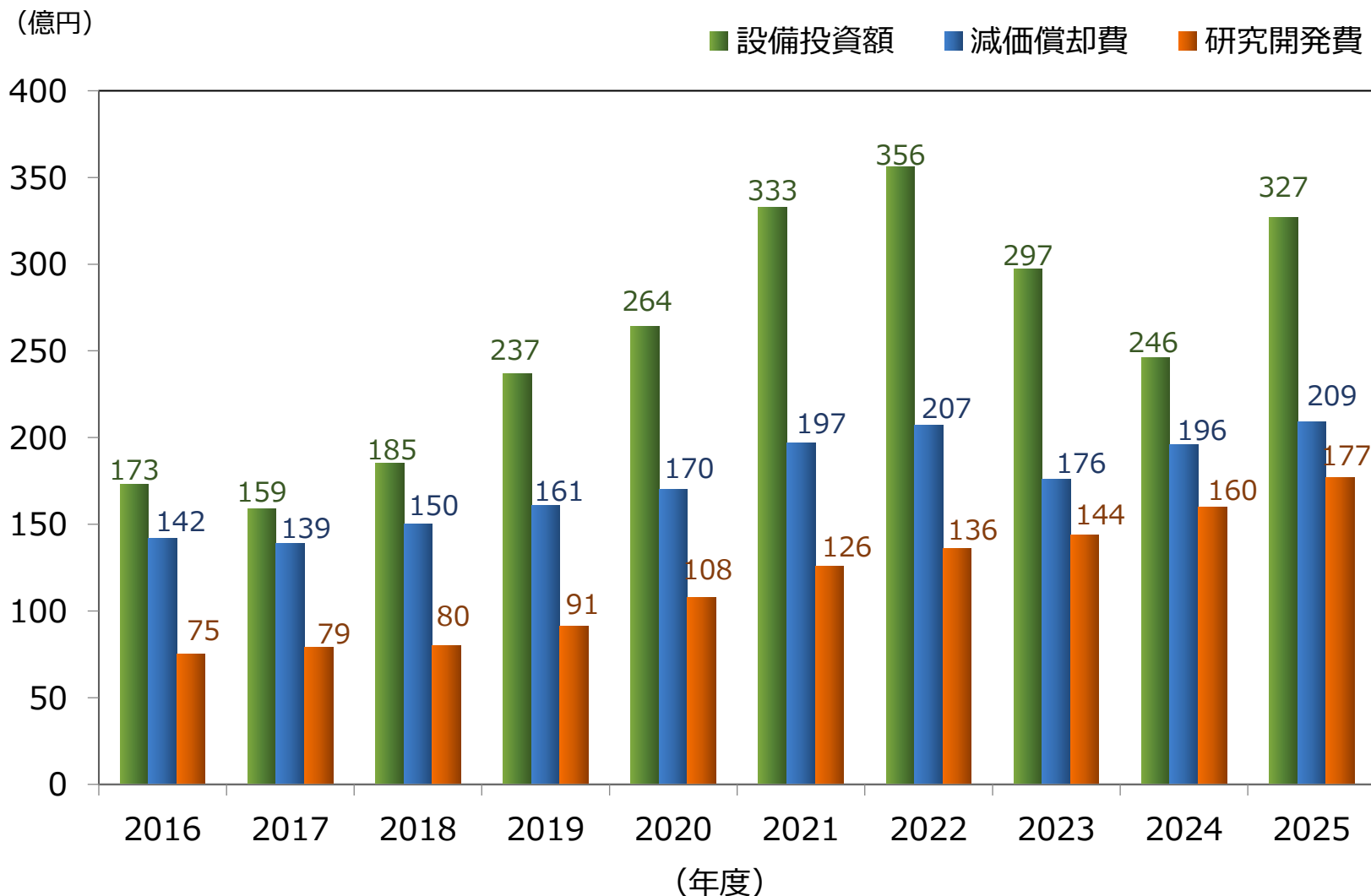
4. セグメント別業績推移

(億円)

売上高	2024年度				2025年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
連結決算	825	830	878	896	818	819	877	979
化成品	305	267	286	290	274	248	268	270
セメント	163	159	173	150	160	163	178	166
電子先端材料	178	218	223	249	212	213	208	282
ライフサイエンス	100	99	105	114	90	101	143	157
環境事業	8	10	15	17	14	12	15	19

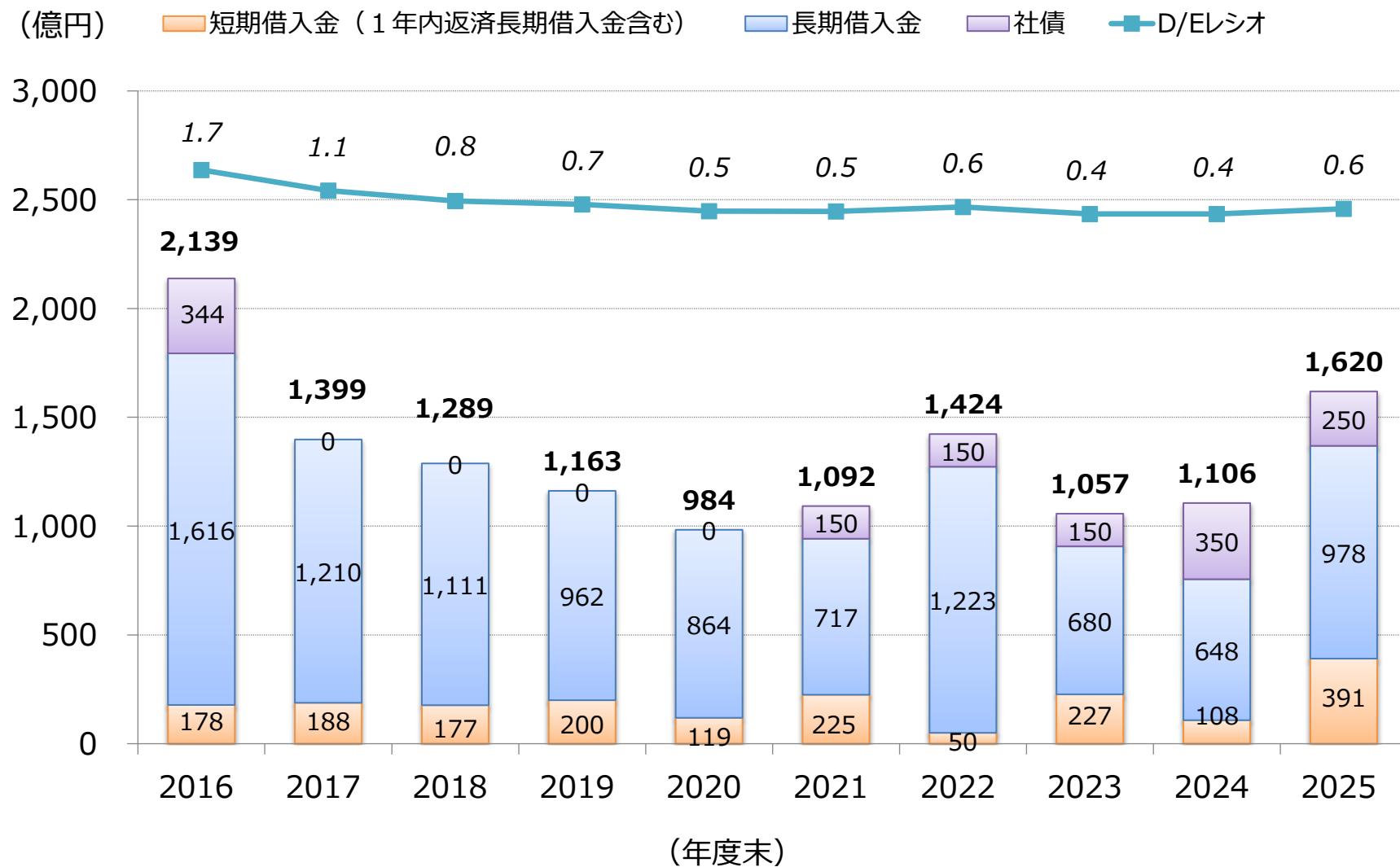
営業利益	2024年度				2025年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
連結決算	75	64	71	88	78	112	75	102
化成品	27	24	26	28	28	28	21	18
セメント	17	19	20	16	25	23	24	22
電子先端材料	19	9	24	42	28	41	34	52
ライフサイエンス	20	17	20	19	17	23	16	21
環境事業	△1	△0	1	0	1	0	1	2

5. 設備投資額・減価償却費・研究開発費推移

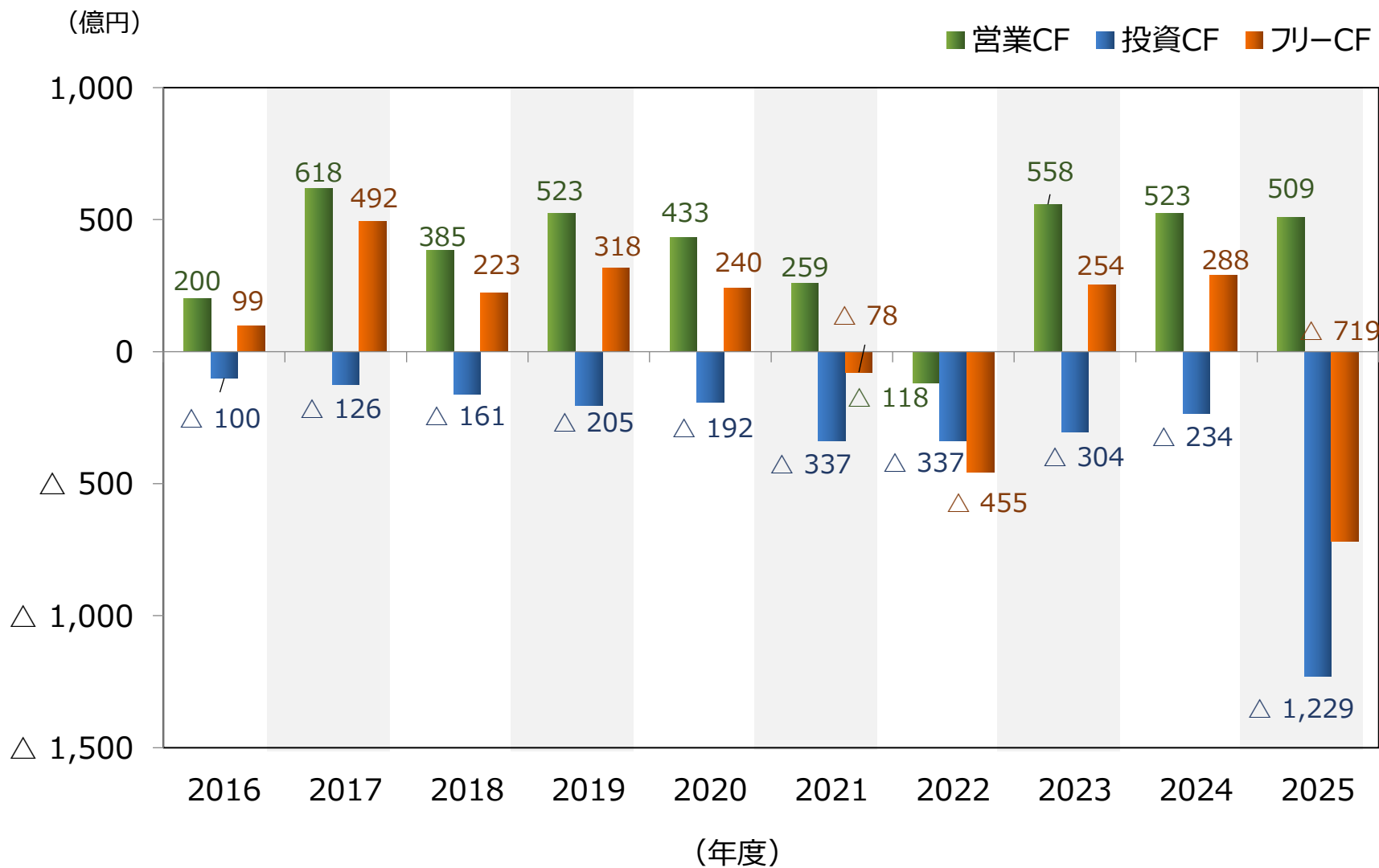


(注) 2023年度より、有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更しております

6. 有利子負債残高推移



7. キャッシュフロー推移



8. 従業員数推移



本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、転載、出版等を含む）することはできません。

もっと未来の人のために

TOKUYAMA 